

まちの未来計画

2021-2030

まちづくり
の視点

まちの未来計画(岡垣町第6次総合計画)とは

総合計画は、将来、私たちの岡垣町をどのような「まち」にしていくのか、そのためにどんなことをしていくのかを総合的・体系的にまとめた町の最上位計画で、今後の10年間のまちづくりの方針や目標を示したものです。

これからの岡垣町に求められるまちづくりとは

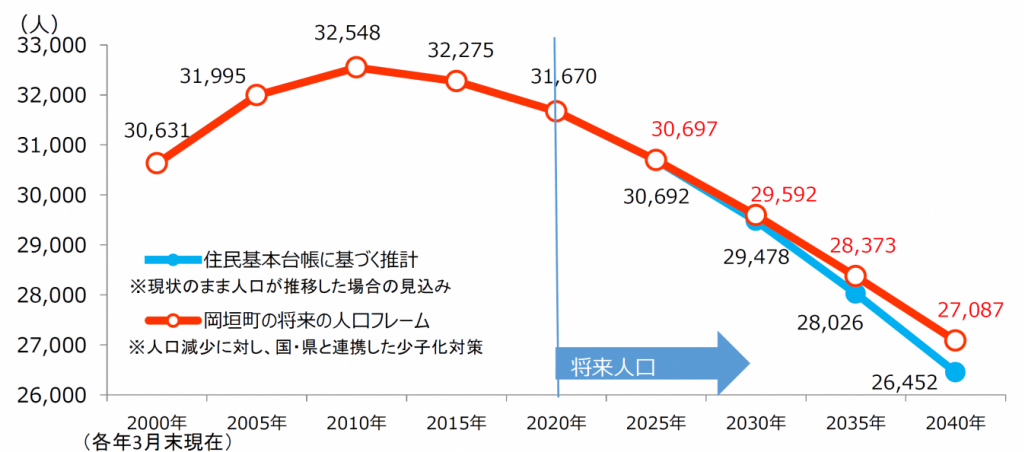
●人口減少を見据えた持続可能なまちづくり

本町の人口は、2010(平成22)年をピークに、人口減少が進み、2040年には約26,000人まで減少すると推計しています。

人口減少や高齢化が更に進むことで、地域活動の担い手が不足し、従来から行われてきた地域活動が衰退してしまう懸念があります。

こうした背景を踏まえ、本計画では、人口減少を見据え、様々な施策を展開することで、持続可能なまちを目指します。

(将来の人口推計と将来人口フレーム)

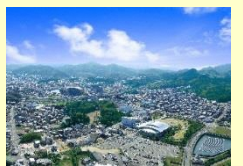


目指す
まちづくり
の将来像

自然と共生する しあわせ実感都市 岡垣

住民の愛着のある豊かな自然と豊かな自然によりもたらされたおいしい水、食の恵み、子育て環境、住民のふれあいがある暮らしは、「**岡垣らしい しあわせ**」と言えます。

人口減少社会への転換が求められる中であっても、将来にわたり、町では「**岡垣らしい しあわせ**」を守り育て、住民一人ひとりがしあわせを実感できる町を目指します。



5つの
基本目標

将来像を実現するための5つの基本目標



まちの未来に向けて めざす18のまちづくり

基本目標1

自然を守り、活かし交流を生むまち

まちづくり1 豊かな自然を守り、育てる

まちの魅力である、豊かな自然を住民・団体・企業との交流・連携により、自然を守る活動を広げていきます。

まちづくり2 おいしい水、きれいなまちを守る

おいしい地下水を守るとともに、ごみの減量化や生活環境の保全活動を促進します。

まちづくり3 地域から地球温暖化を防止する

省エネ対策や再生可能エネルギーの導入など、地球温暖化対策に取り組みます。

主な取組

- 三里松原と美しい海岸の保全
- おいしい水の安定供給・PR など

基本目標2

地域資源を活かし発展するまち

まちづくり4 農業・漁業を守り、育てる

様々な農水産物を持続的に安定して供給するため、生産基盤の維持や経営者への支援、後継者の育成に取り組みます。

まちづくり5 商工業を支援し、地域経済を活性化

地域の雇用を支える商工業の経営支援を行うとともに、新たな企業の誘致や起業・創業の支援などに取り組みます。

まちづくり6 地域資源を活かした観光を推進する

自然や食などの地域資源を活かした観光交流を拡大するとともに、町の魅力を効果的に情報発信します。

主な取組

- 農業・漁業の生産基盤の維持管理・活用
- 自然などの地域資源を活かした体験型観光の開発 など

基本目標3

人・つながりが育つまち

まちづくり7 安心して子育てができるまちをつくる

安心して子どもを産み・育てられるよう、妊娠から出産、育児まで切れ目のない子育て支援や保育環境の充実を図ります。

まちづくり8 未来を担う子どもたちが心豊かに育つまちをつくる

子どもが社会で生き抜く力とふるさとへの愛着を育む学校教育を推進します。

まちづくり9 住民がともに学び、ふれあうまちをつくる

文化活動やスポーツなどの生涯学習の推進、住民交流を促進し、まちづくりの輪を広げます。

主な取組

- 子育て世代包括支援センター等を中心とした総合的な子育て支援、保育環境の充実
- 英語教育やICTを活用した教育の推進 など

基本目標4

誰もが元気で自分らしく暮らせるまち

まちづくり10 住民が健康で暮らせるまちをつくる

住民の健康管理・健康増進の意識を高め、地域での健康づくり活動に参加しやすいよう、健康づくりの輪を広げます。

まちづくり11 誰もが安心して暮らせるまちをつくる

「お互いさま」の心で支えあうネットワークの充実、高齢者や障害のある人への福祉環境の充実を図るとともに、誰もが地域の様々な場面で活躍し、働きがいや生きがいが生まれる機会を提供します。

まちづくり12 互いに支えあい、ともに歩むまちをつくる

互いの人権を尊重し、ともに認めあい個性が発揮できるまちづくりを推進します。

主な取組

- 特定健診の勧奨など住民の健康意識を高める取組や相談の充実
- 地域福祉活動を支えるボランティアなどの人材育成など

基本目標5

安全・快適に暮らせる持続可能なまち

まちづくり13 成熟した都市の再生を推進する

持続可能な都市づくりを推進するため、駅周辺の活性化、便利な公共交通の整備を進めます。

まちづくり14 安全で便利な都市基盤をつくる

定住促進や企業進出を見据えた道路ネットワークの整備などにより、都市の利便性の向上を図ります。

まちづくり15 災害から住民を守る

大規模な自然災害に備え、災害に強い基盤づくりを推進するとともに、自助・共助による防災活動を促進します。

まちづくり16 犯罪・事故から住民を守る

犯罪を抑止するための環境整備や地域の防犯活動を支援するなど、地域の犯罪を抑止する取組を促進します。

主な取組

- 住民のニーズに対応した新しい公共交通体系の構築
- JR海老津駅周辺を快適に利用できる環境整備
- 河川改修等、災害に強いインフラの整備
- 各自治区における自主防災組織の活性化 など

計画推進の基盤

まちづくり17 住民とともにまちづくり活動を広げる

地域のコミュニティ活動を促進するとともに、自主的なボランティア活動・コミュニティ活動を促進します。

まちづくり18 社会変化に対応した行財政運営を推進する

社会変化に対応し、将来を見据えた計画的な行財政運営を推進するとともに、町の魅力を発信し、定住・交流・関係人口などの増加を図ります。

広げよう！まちづくりの輪！

今までの協働のまちづくりで培われたまちづくりの輪を基本に、これまでまちづくりに参画する機会がなかった住民や企業、町外の人たちを巻き込み、「対話・交流」「共感・つながり」「実践・成長」「連携・拡大」を生むことで、まちづくりの輪を広げます。

